

地域を担う人材育成のためのキャリアプランニング推進事業 【学校を核とした地域力強化プランの一部】

令和4年度予算額(案) 8百万円
(前年度予算額 8百万円)



文部科学省

背景・課題

◇Society 5.0に向けた人材育成～ 社会が変わる、学びが変わる ～(平成30年6月5日 大臣懇談会・省内タスクフォース決定)

第3章(3)②地域の良さを学びコミュニティを支える人材の育成

高等学校と地元市町村・企業等の連携により、地域課題の解決等の探求的な学びを実現する仕組みの構築や、進路決定後に地元を離れる生徒も対象としたインターンシップを促進

◇まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020改訂版(令和2年12月21日閣議決定)

第2章. 1. (2)②修学・就業による若者の地方への流れの推進

地元への愛着がUターン希望を左右するといった指摘があることから、地域に誇りを持つプログラムを以下の施策等を通じて推進する。

・地元就職に資するキャリア教育の推進

◇まち・ひと・しごと創生基本方針 2021(令和3年6月18日閣議決定)

第3章. 2. (1)②修学・就業による若者の地方への流れの推進

小・中・高等学校におけるキャリア・パスポートの活用について、小・中・高等学校間の継続性を図り、より地元企業への理解を深め、地域の実情に応じた小・中・高等学校が一貫したキャリア教育を推進する。

事業内容

「キャリアプランニングスーパーバイザー(CPSV)」を教育委員会等に配置し、地元への愛着を深めるキャリア教育の推進等を通じ、地元就職し地域を担う人材の育成を図る。
〈令和2年度 配置人数22人〉

○小・中・高等学校を通じ、地元への理解や愛着を深めるキャリア教育の推進

○職場体験やインターンシップの受入れ先の開拓及び学校と企業等とのマッチング

○教職員及び学校に配置された外部人材への支援・

相談・情報提供

○生徒へのキャリアカウンセリングや企業の情報

提供などの就労支援

○高校や地域若者サポートステーション等と

連携し、中退者や高校卒業後早期

離職した者等への就労支援

(例・地域におけるキャリア教育推進のための協議会)



対象
校種

小学校、中学校、高等学校等

実施
主体

都道府県、市区町村

補助
割合

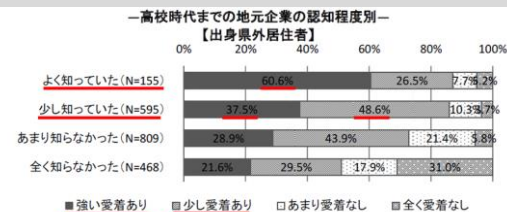
補助率(国:1/3 県市:2/3)

補助
対象経費

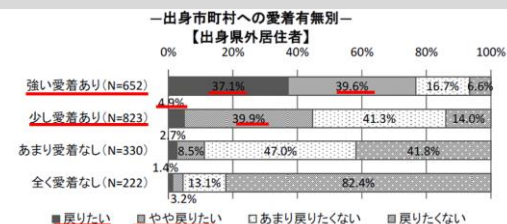
諸謝金、旅費等

(参考)出身市町村へのUターン希望状況

出身市町村
への愛着



出身市町村へ
のUターン希望



高校時代までに(転出前に)地元企業を知ったことが、転出後も出身地への愛着として残り、Uターン希望につながっていることがうかがえる。

※「地方における雇用創出・人材還流の可能性を探る」(独立行政法人労働政策研究・研修機構)をもとに作成